

第4章 プランの推進体制

1 プランの推進体制

日本人も外国人もともに地域社会の一員であるという視点に立ち、県民・企業・団体・市町・県など様々な主体が連携し、協力し合い、それぞれの立場に応じた役割を担いながら「チームふくい」で各施策を推進します。

○庁内体制の整備

多文化共生施策を総合的に推進するため、庁内部局横断の連絡会議を開催し、各分野における施策の進捗状況を確認します。

○県・市町の連携強化

県内市町の課題や先進事例に関する意見交換を行う連絡会議を開催し、県と市町の情報共有・連携を進めます。

○関係機関とのネットワーク形成

福井に暮らす外国人県民の生活支援等に取り組む関係機関のネットワークを形成し、プランに示した施策を推進するとともに、施策の進捗状況を報告します。

2 関係機関の役割と連携

○地域の役割

より多くの外国人県民が地域の共同活動や防災・防犯活動などに参加できるよう、積極的に声かけを行うなど、外国人県民が住民と交流し、地域に馴染める環境をつくりまします。

○企業の役割

外国人労働者の労働環境・居住環境の改善を図るとともに、生活ルールの周知や地域住民との交流イベントなど、生活面のサポートや地域交流の支援を行います。

○支援団体の役割

外国人児童生徒の居場所づくりや学習支援、日本語教育や生活相談、多文化交流イベントの開催など、各団体の特色を活かした活動を展開するとともに、支援団体間の情報共有・連携を進めます。

○行政の役割

多文化共生や外国人支援に取り組むそれぞれの主体が抱える様々な課題を共有し、意見交換する場をつくるとともに、各関係機関の活動支援と連携強化により、多文化共生の地域づくりを推進します。

参考資料

1 プランの策定経過

○福井県多文化共生推進プラン策定委員会

開催日	テーマ
令和2年8月18日	「福井県多文化共生推進プラン」策定の方向性およびアンケート調査の実施について
令和2年11月16日	「福井県多文化共生推進プラン」の骨子（案）およびアンケートの中間とりまとめ結果について
令和3年1月28日	「福井県多文化共生推進プラン」（案）について

○福井県議会

議会	内容
令和2年12月議会	「福井県多文化共生推進プラン」骨子（案）
令和3年2月議会	「福井県多文化共生推進プラン」（案）

○関係機関との意見交換

《市町・国際交流団体等》

福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町
(公財)福井県国際交流協会、(公社)ふくい市民国際交流協会、越前市国際交流協会

20機関

《企業・団体等》

外国人労働者を雇用している企業、外国人材派遣会社

日本語学校を運営している企業、県内IT企業

外国人留学生が在籍している大学、外国人児童生徒が在籍している小・中学校

外国人支援や多文化共生に取り組む団体、国際交流に関わる外国人県民グループ など

16社・団体

○多文化共生に関する県民アンケート

対象	調査期間	回答者数
県内に住む外国人住民	令和2年10月12日～26日	1,117人
県内に居住する満18歳以上の日本人	令和2年10月12日～26日	640人

○県民パブリックコメント

募集期間：令和3年2月16日（火）～3月2日（火）

意見数：22件

2 福井県多文化共生推進プラン策定委員会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

所属、役職等	氏名	備考
(特非) THAP 理事長	池田 裕太郎	
(有) 国際企画サービス 代表取締役 福井日伊英米交流協会 理事	大谷 君枝	
(公財) 福井県国際交流協会 (通訳) 福井労働局 (通訳)	大谷 喜代美	
(株) ベネッセコーポレーション 大学・社会人事業部 行政事業責任者	大宮 千絵	
(公財) 福井県国際交流協会 専務理事	国久 敏弘	
松文産業 (株) 代表取締役社長 遼日産業 (協) 代表理事	小泉 信太郎	
福井県国際経済課 国際交流員	ゾーイ ウィンバーン	
(一財) ダイバーシティ研究所 代表理事	田村 太郎	
越前市国際交流協会 事務局次長 多文化共生マネージャー	中須賀 美幸	
(大) 福井大学大学院 准教授	半原 芳子	
(大) 福井大学国際地域学部 特任教授	細谷 龍平	委員長
オレコ (株) 日本事業部 副社長	真柄 進	
福井華僑華人联谊会 副会長 福井放送 (株) 経営管理局総務部	王 少英	

3 県民アンケート

《外国人対象調査》

I 調査の概要

1 調査期間

令和2年10月12日～10月26日

2 調査方法

- ・市町、国際交流団体、企業、大学等を通じて調査票（英語、ポルトガル語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語の5言語）を配布
- ・調査票（紙ベース）またはWebによる回答

3 調査対象

県内に住む外国人住民（特別永住者を除く）

4 回答者数

1,117人

5 回答者属性

○性別

	回答数	割合(%)
男性	569	50.9
女性	533	47.7
自由記述	0	0.0
無回答	15	1.3
合計	1,117	100.0

○国籍別

	回答数	割合(%)
中国	148	13.2
ブラジル	267	23.9
フィリピン	60	5.4
韓国	6	0.5
タイ	13	1.2
ベトナム	385	34.5
アメリカ	56	5.0
インドネシア	13	1.2
カンボジア	5	0.4
ミャンマー	35	3.1
その他	121	10.8
無回答	8	0.7
合計	1,117	100.0

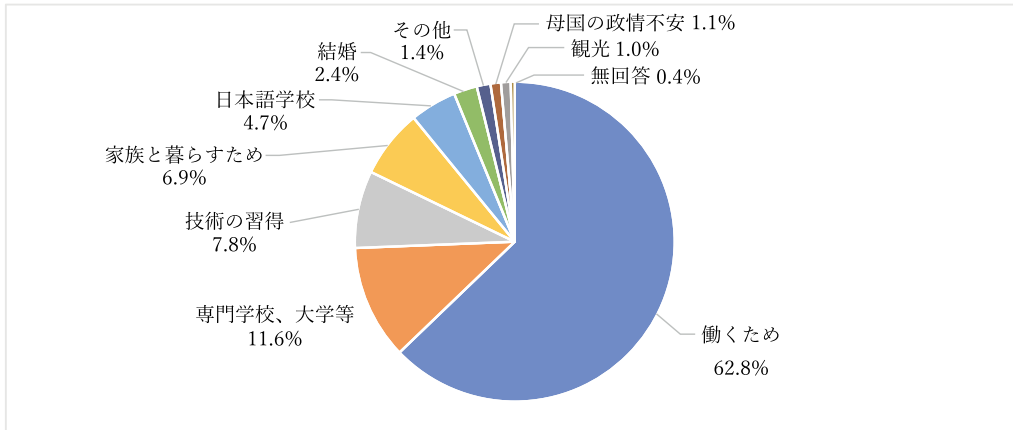
○在留資格別

	回答数	割合(%)
研修・特定活動・技能実習	440	39.4
永住者・定住者	288	25.8
日本人の配偶者等	35	3.1
留学	177	15.8
特定技能	22	2.0
それ以外の在留資格	123	11.0
無回答	32	2.9
合計	1,117	100.0

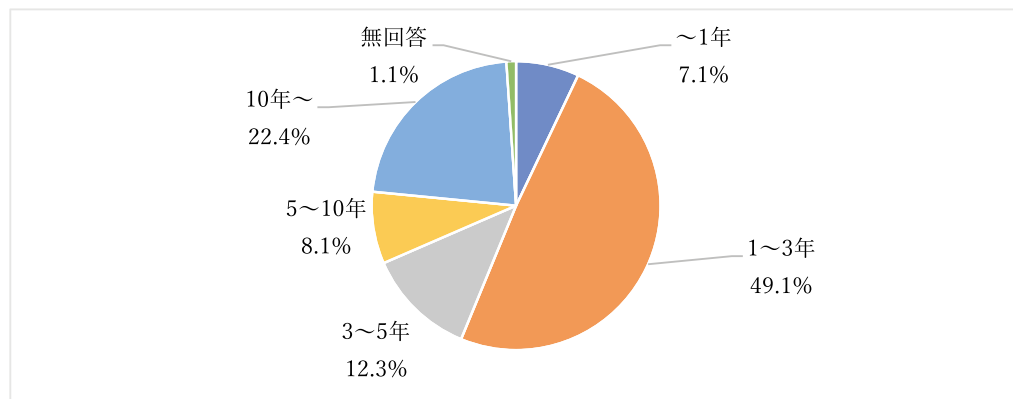
Ⅱ 調査結果の概要

1 自身のこと

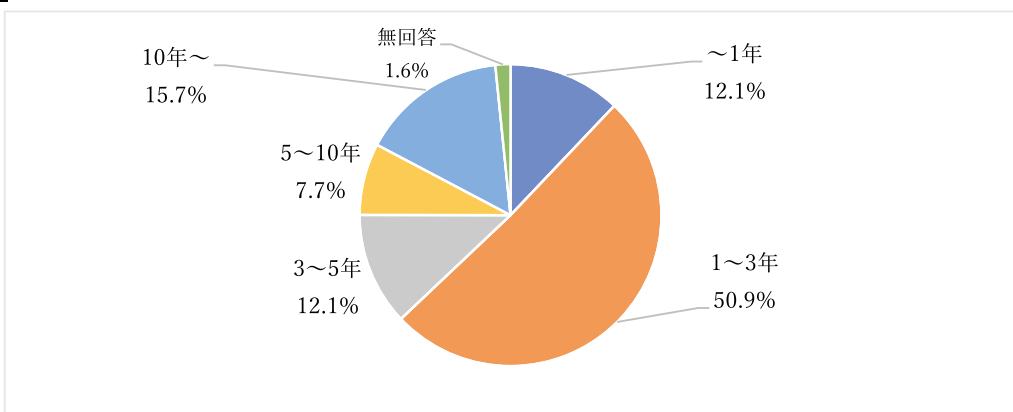
問1 日本に来た目的



問2 日本に住んでいる年数

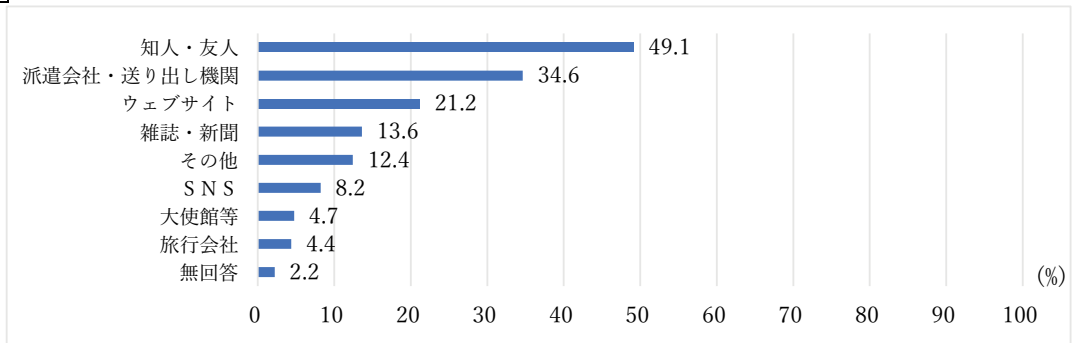


問3 福井県に住んでいる年数



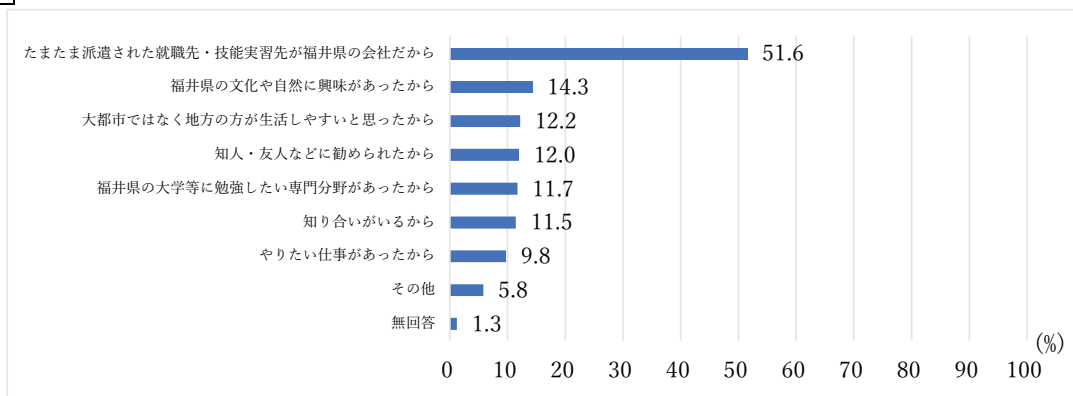
中国籍：「1～3年」45%、「10年～」22%、「～1年」16%
 ブラジル籍：「10年～」41%、「5～10年」23%、「1～3年」14%
 ベトナム籍：「1～3年」78%、「～1年」11%、「3～5年」9%

問4 来日前にどこから日本の情報を入手したか（複数回答）

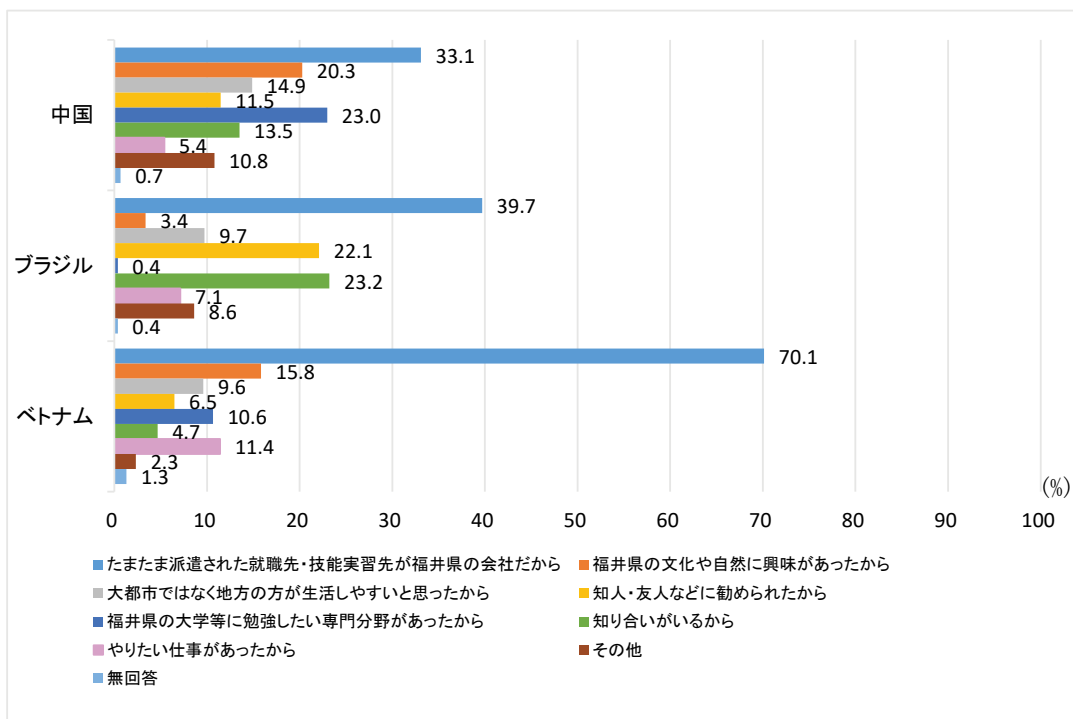


中国籍：1位「知人・友人」(55%)、2位「ウェブサイト」(20%)、3位「雑誌・新聞」(17%)
 ブラジル籍：1位「知人・友人」(50%)、2位「その他」(29%)、3位「派遣会社・送り出し機関」(17%)
 ベトナム籍：1位「派遣会社・送り出し機関」(61%)、2位「知人・友人」(43%)、3位「雑誌・新聞」(20%)

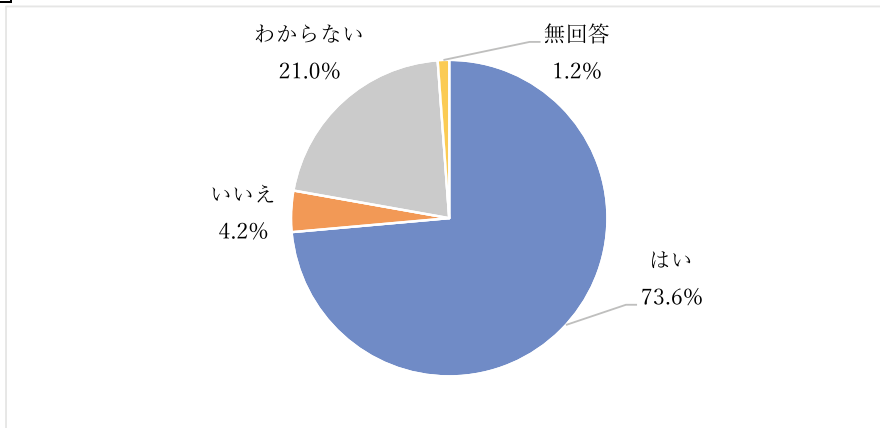
問5 福井県を選んだ理由（複数回答）



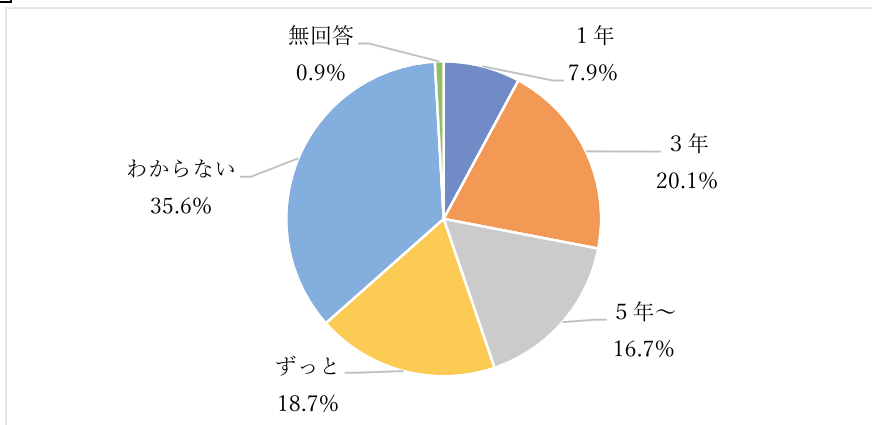
(5-1) 国籍別



問6 福井県に住み続けたいか

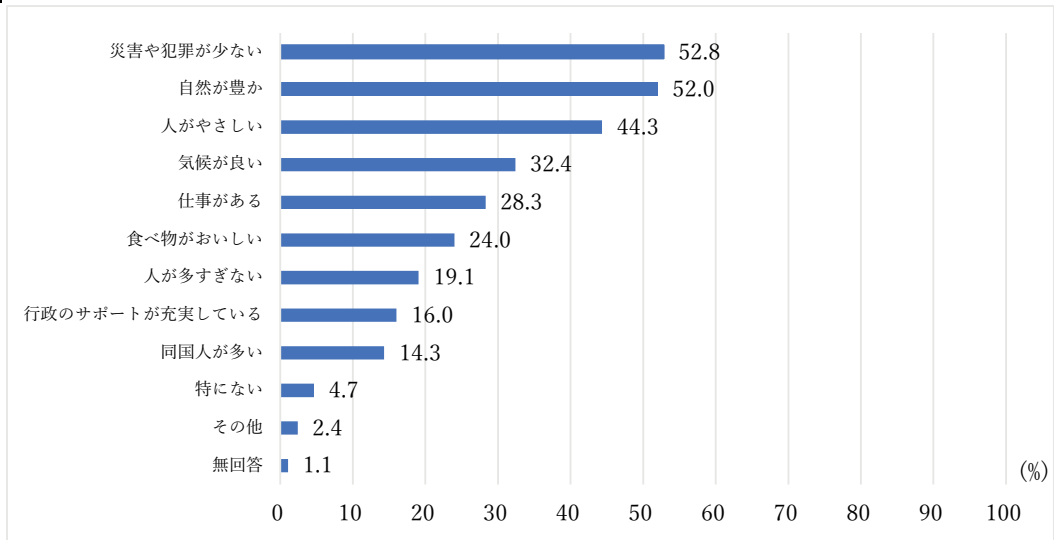


問7 福井県に何年住む予定か

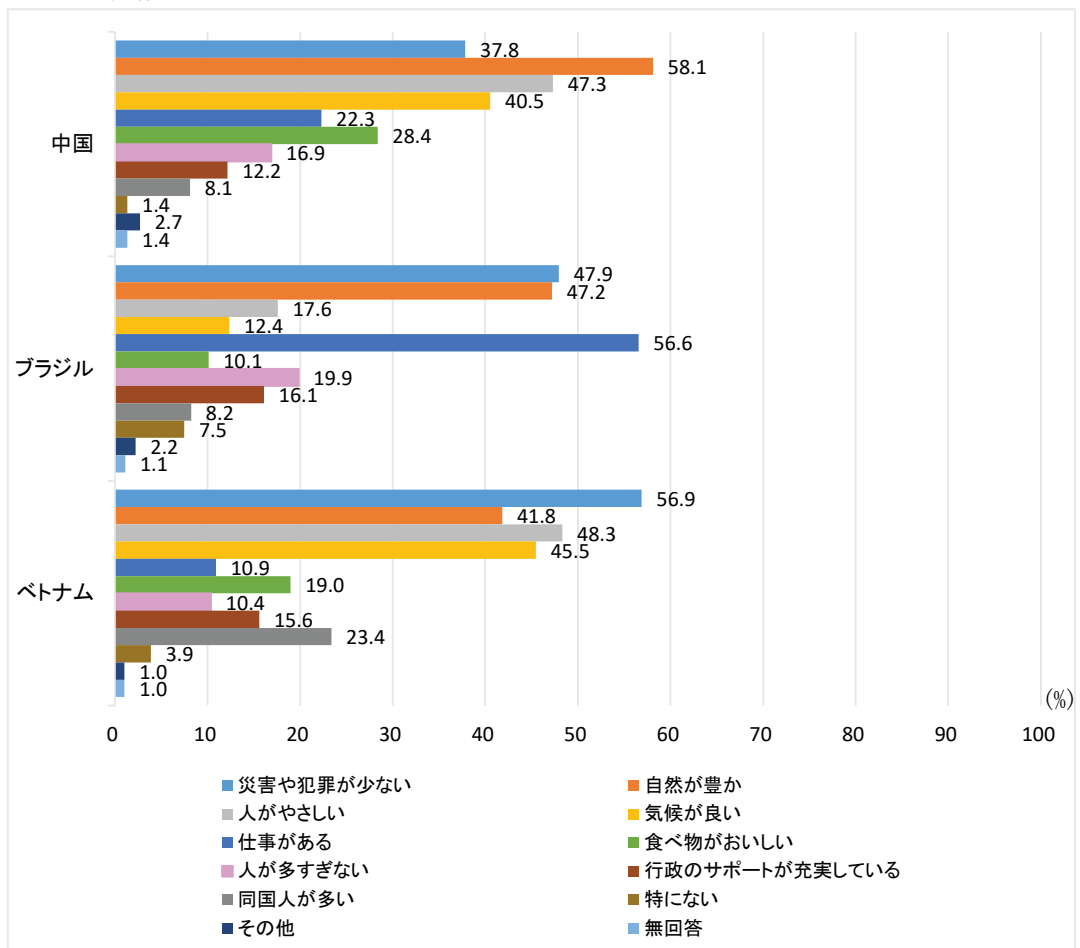


中国籍：「ずっと」28%、「わからない」28%、「3年」26%
 ブラジル籍：「わからない」48%、「ずっと」37%、「5年～」8%
 ベトナム籍：「わからない」31%、「5年～」29%、「3年」27%

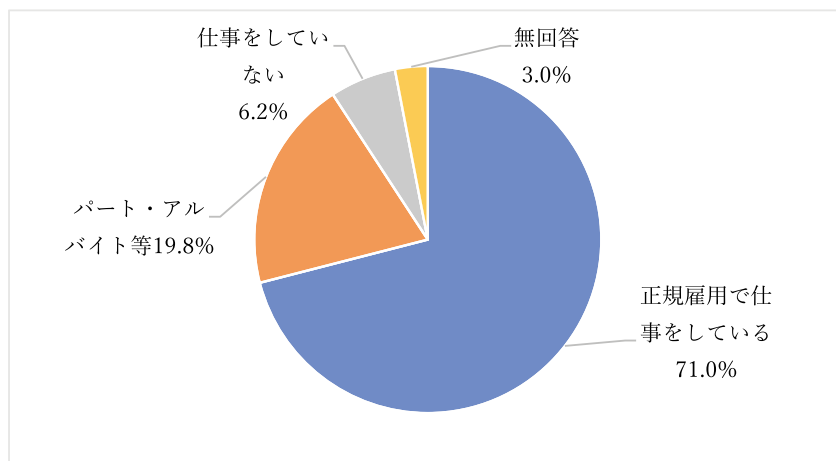
問8 福井県に住んでよかったこと（複数回答）



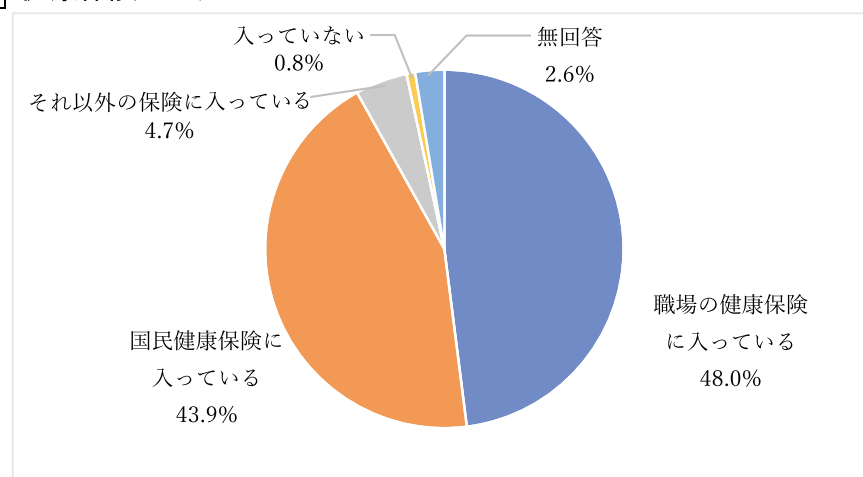
(8-1) 国籍別



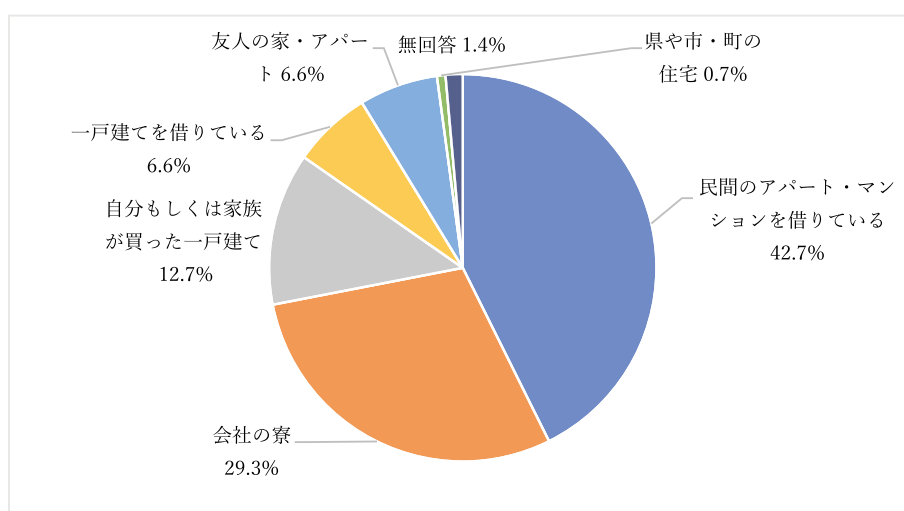
問9 仕事の有無



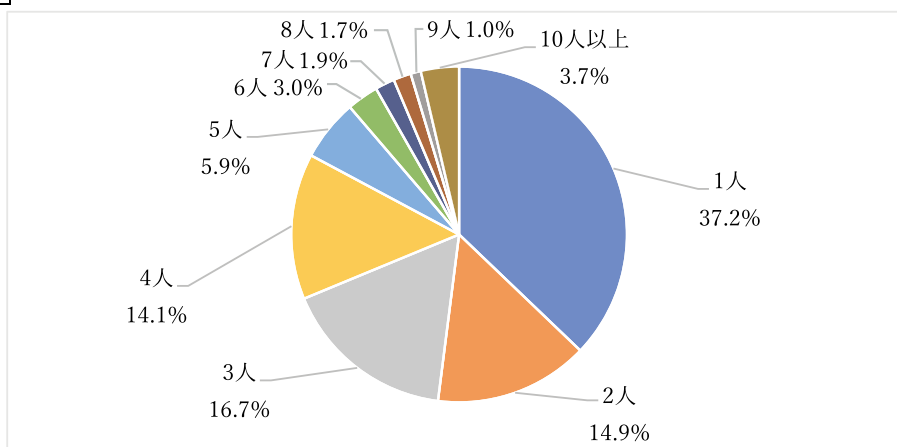
問10 健康保険の加入



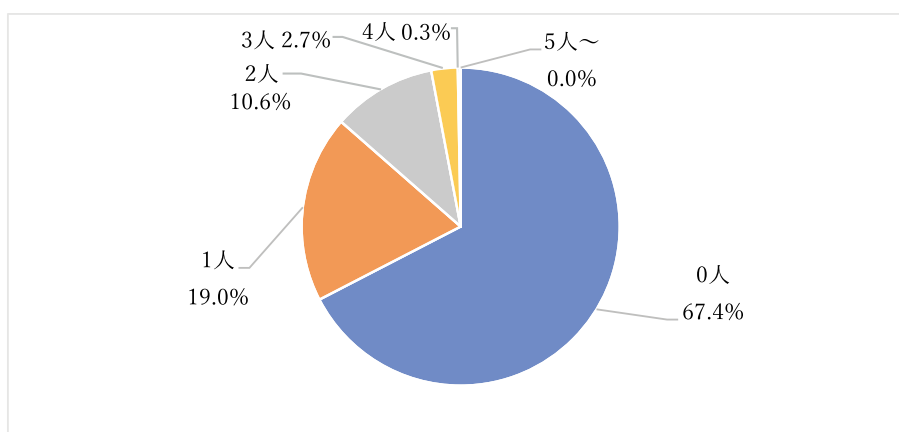
問11 住んでいる家



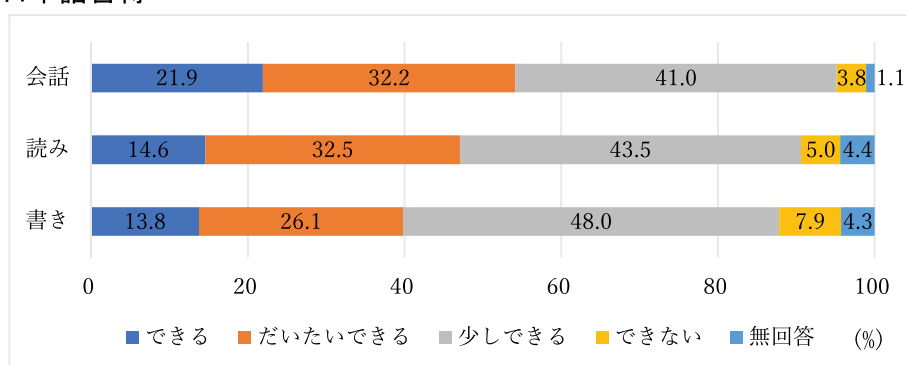
問 12-1 家族の人数（自身含めて）



問 12-2 15歳以下の子ども的人数



問 13 日本語習得



【会話】「だいたいできる」以上の人

中国籍：59%、ブラジル籍：66%、ベトナム籍：37%

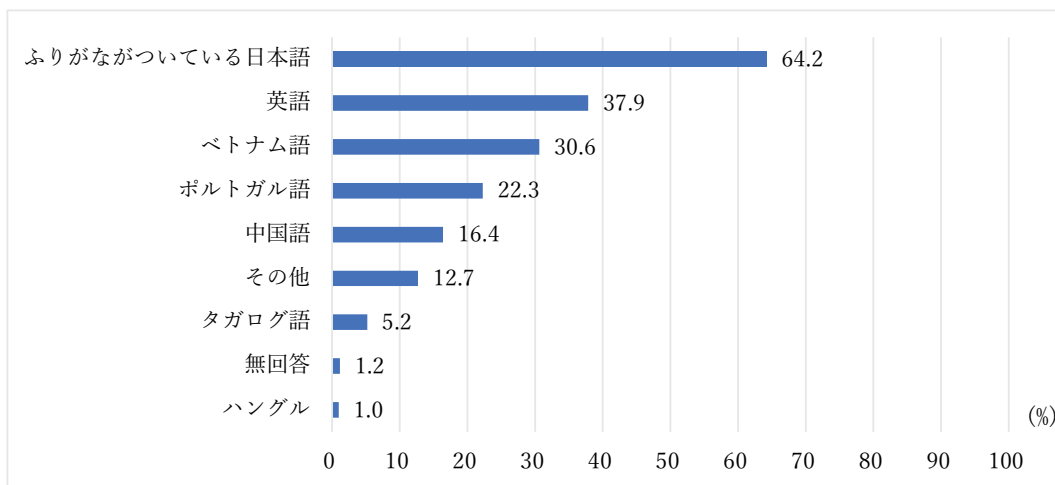
【読み】「だいたいできる」以上の人

中国籍：57%、ブラジル籍：47%、ベトナム籍：36%

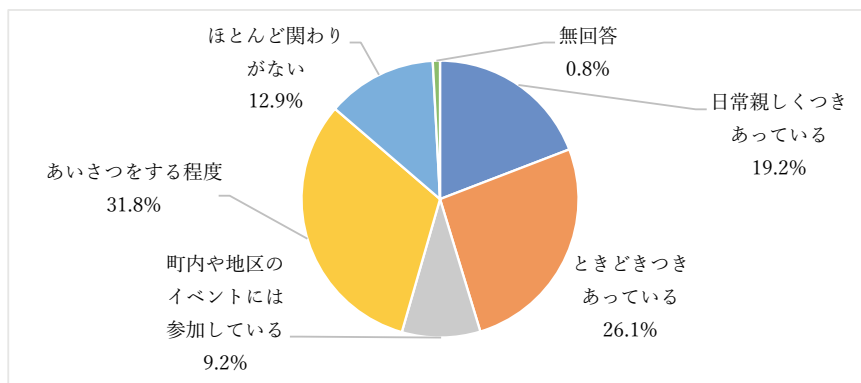
【書き】「だいたいできる」以上の人

中国籍：50%、ブラジル籍：37%、ベトナム籍：32%

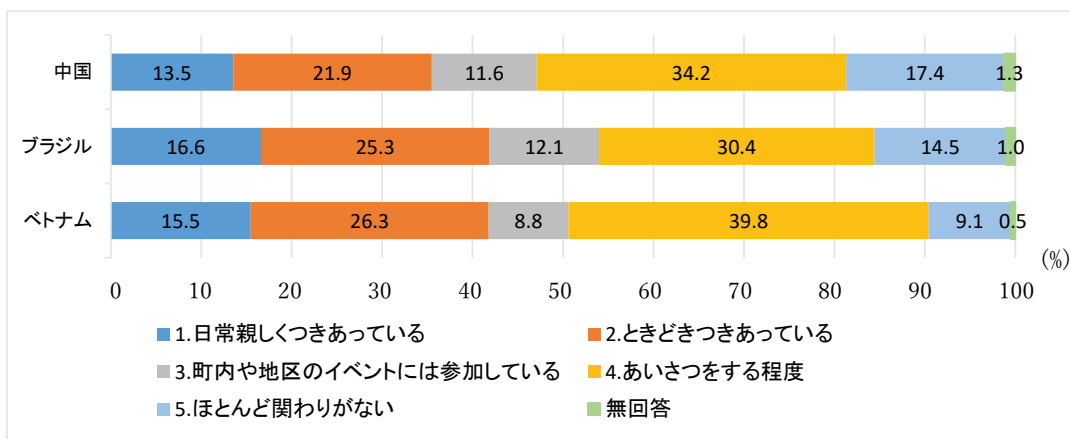
問14 読んで理解できる言語（複数回答）



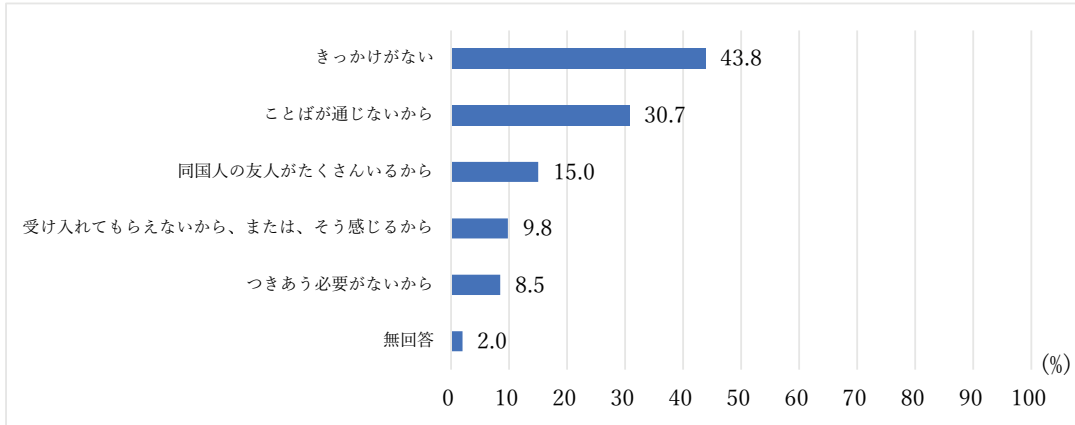
問15 住んでいる町内や地区の日本人との交流



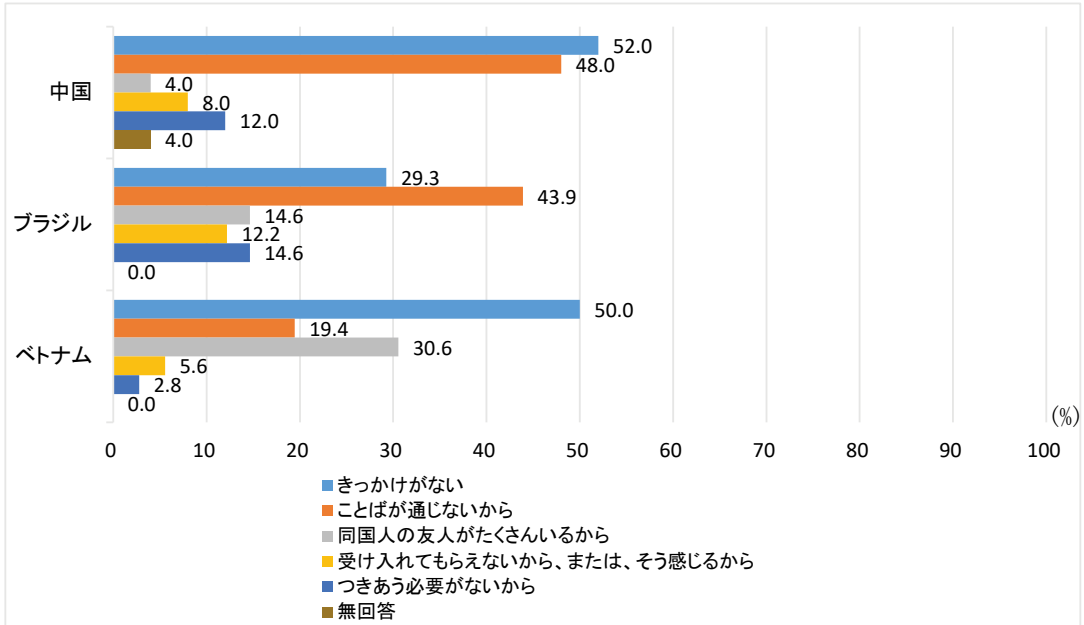
(15-1) 国籍別



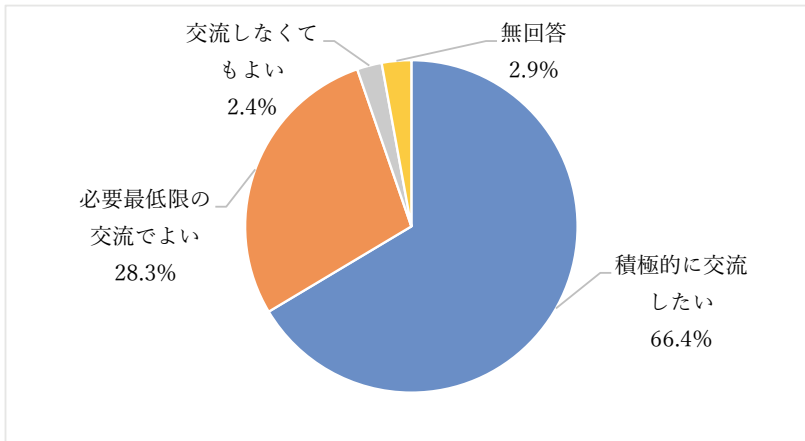
問16 日本人とほとんど関わらない理由（複数回答）



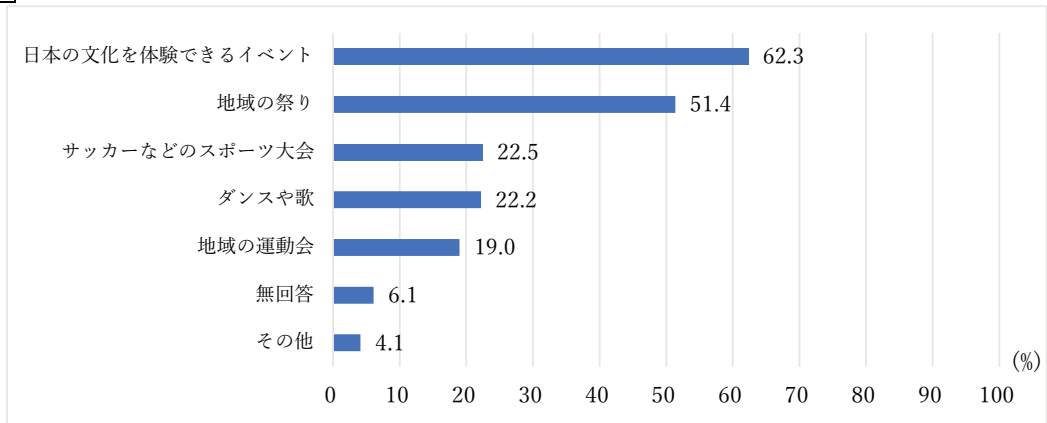
(16-1) 国籍別



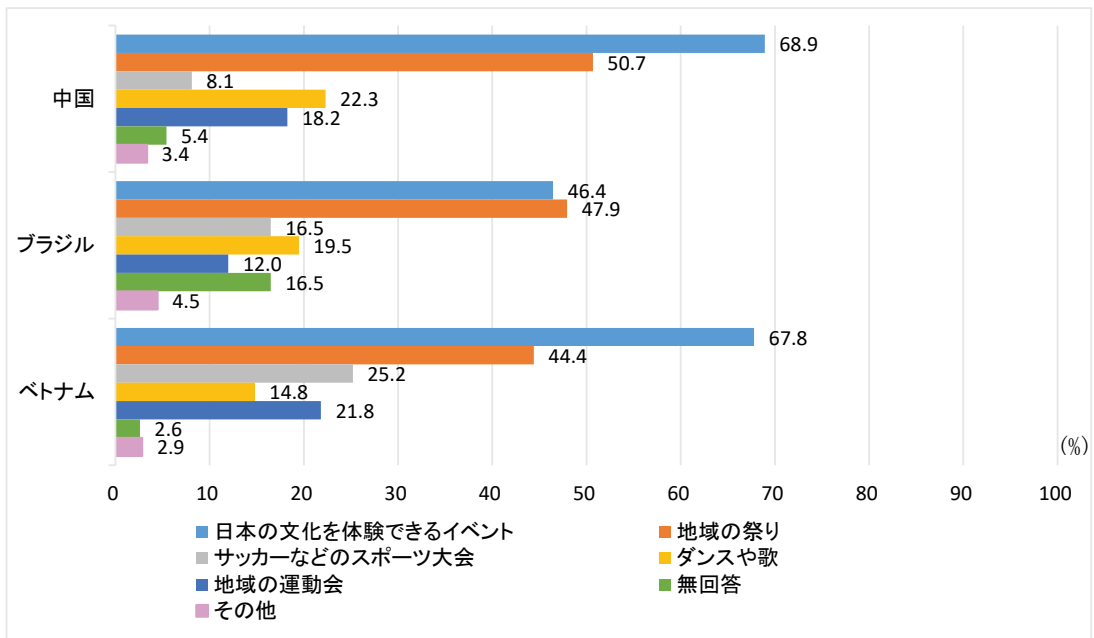
問17 今後、日本人と交流したいか



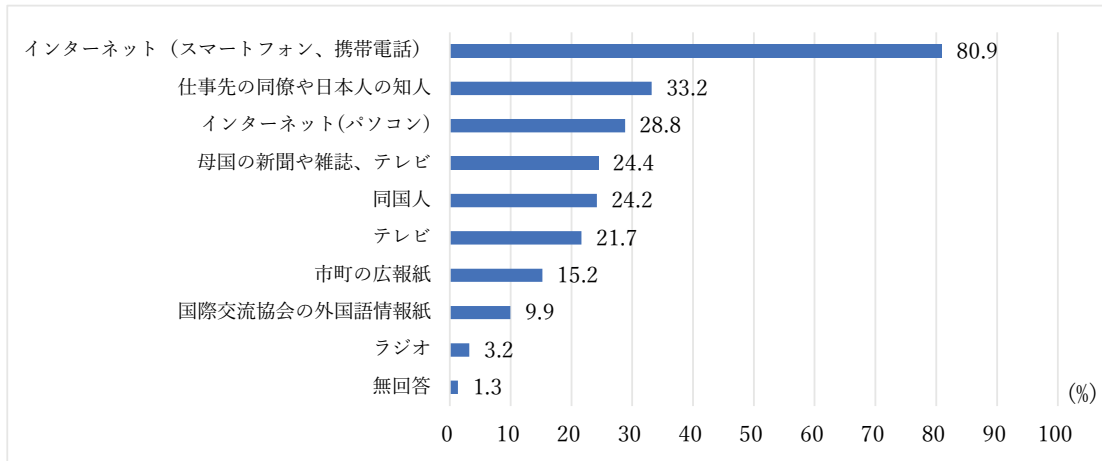
問18 参加したい交流イベント（複数回答）



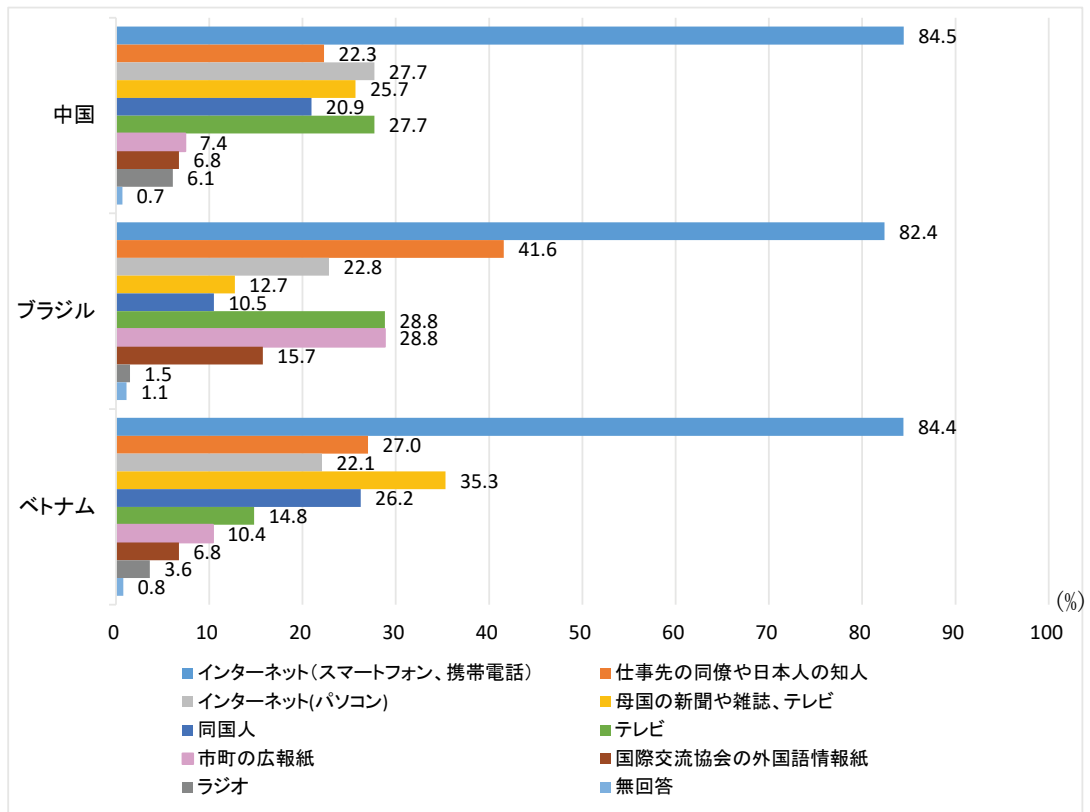
(18-1) 国籍別



問19 生活に必要な情報の入手先（複数回答）

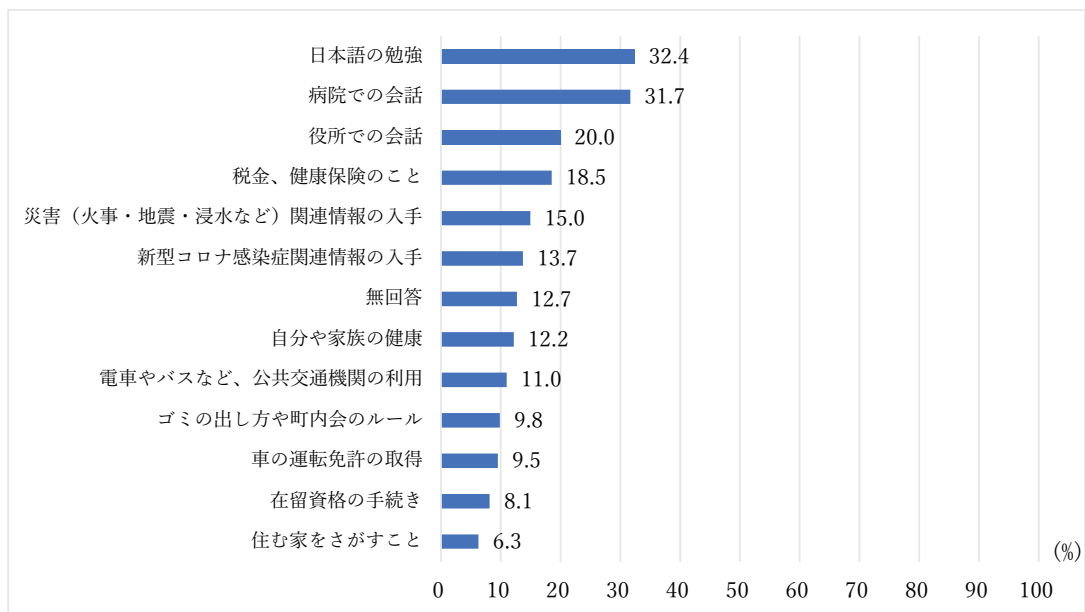


(19-1) 国籍別

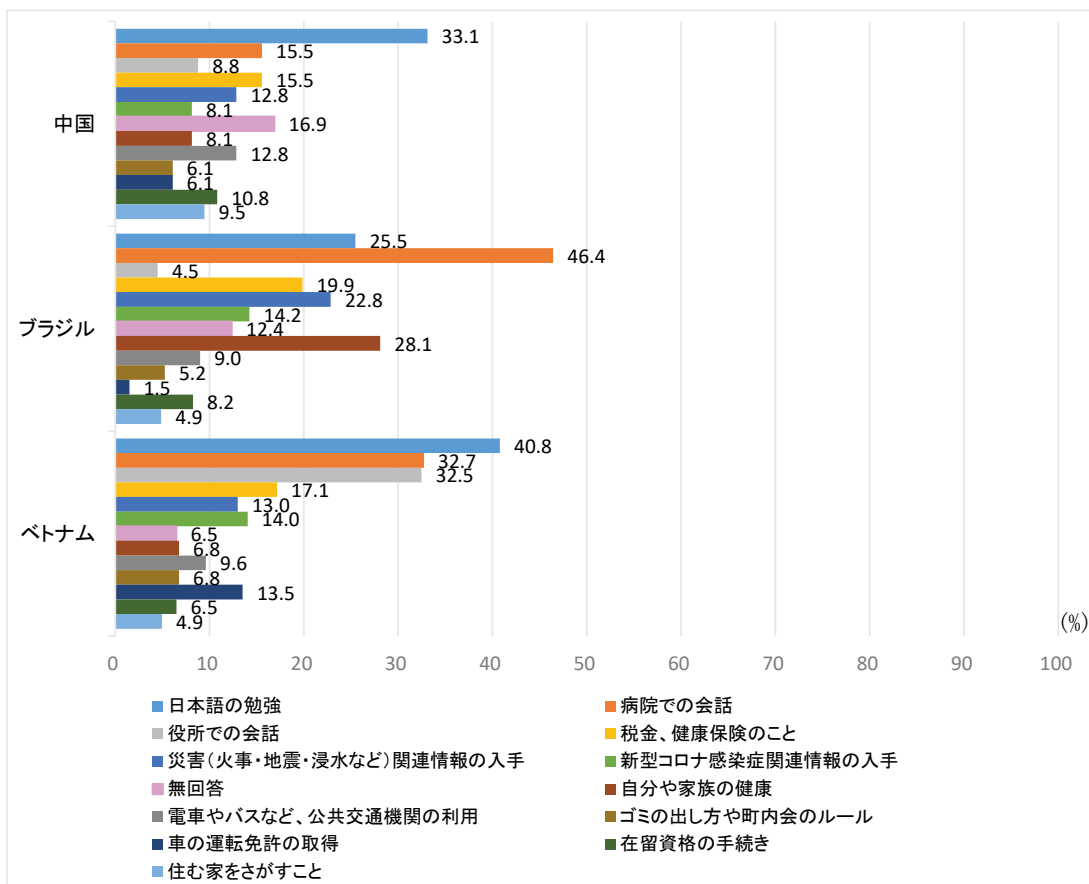


2 生活のこと

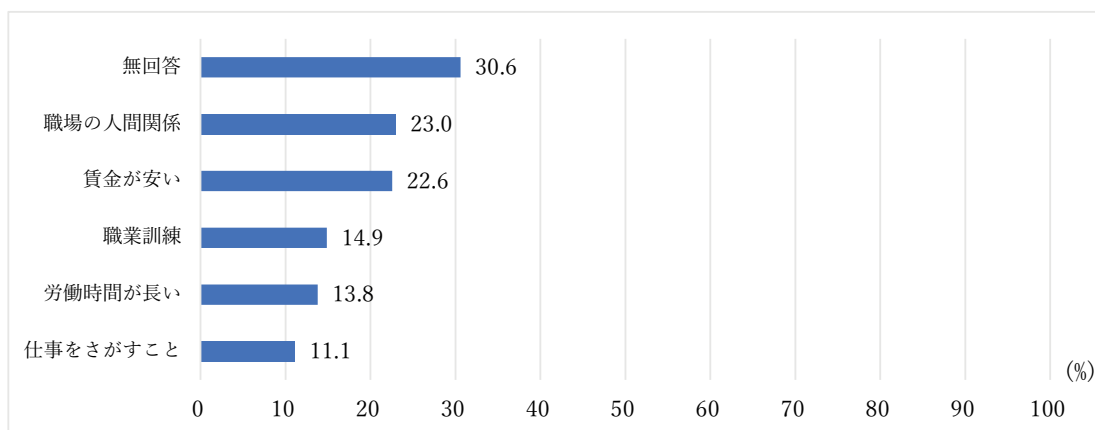
問1 生活上困っていること（複数回答）



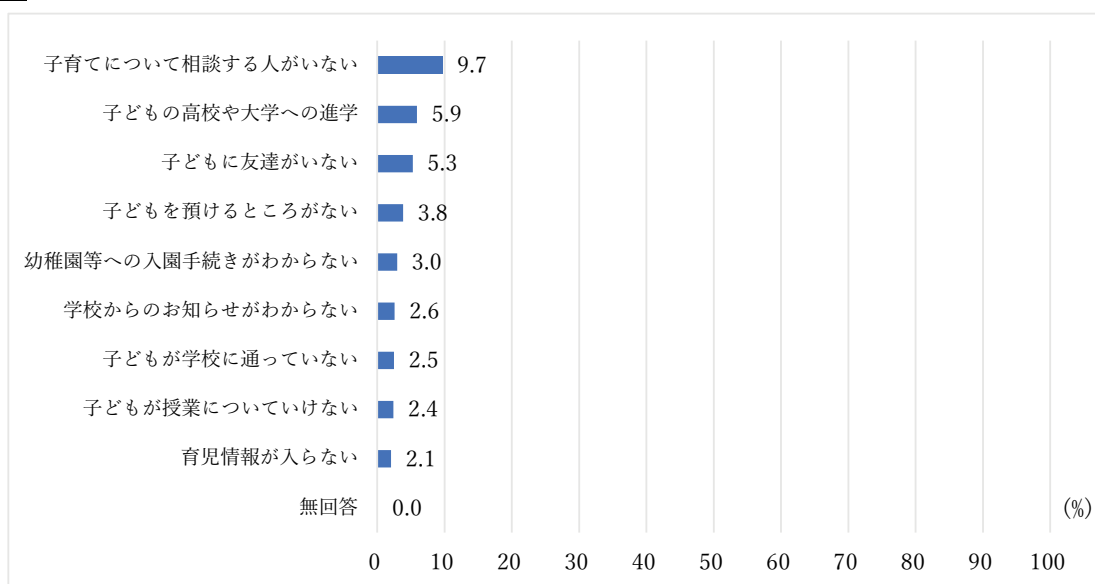
(1-1) 国籍別



問2 工作上困っていること（複数回答）



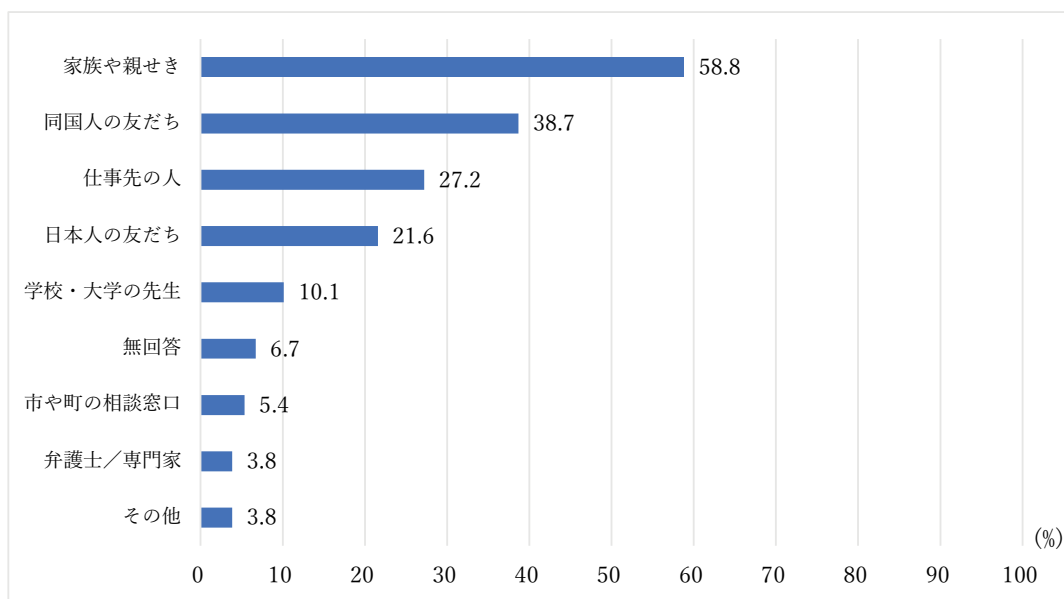
問3 子育て上困っていること（複数回答）



問4 その他困っていること（自由記述）

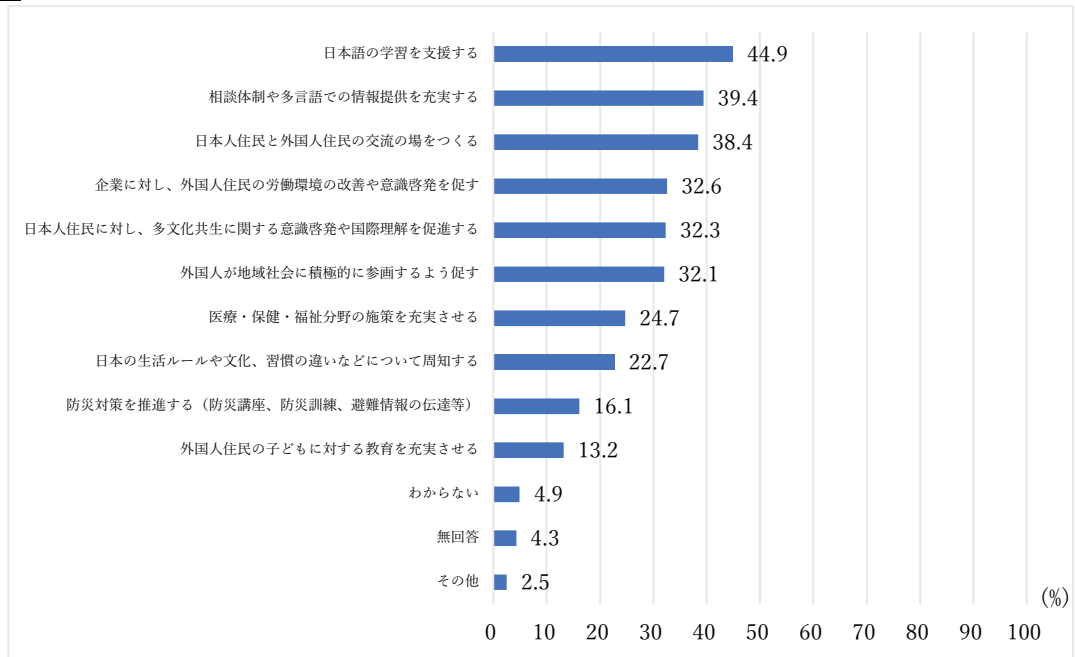
- ・ コロナに関する周知案内情報が分からない
- ・ 子どもが、見た目が違うことから差別される
- ・ 大学の交換留学生に対する日本での生活サポートが必要だと思う
- ・ バス停の名前が分からない
- ・ 行政に関する事務手続きがたくさんあり不便
- ・ 友達をつくるのが難しい
- ・ 市役所、銀行、郵便局に英語を話せる人がいない など

問5 困っているときの相談相手（複数回答）

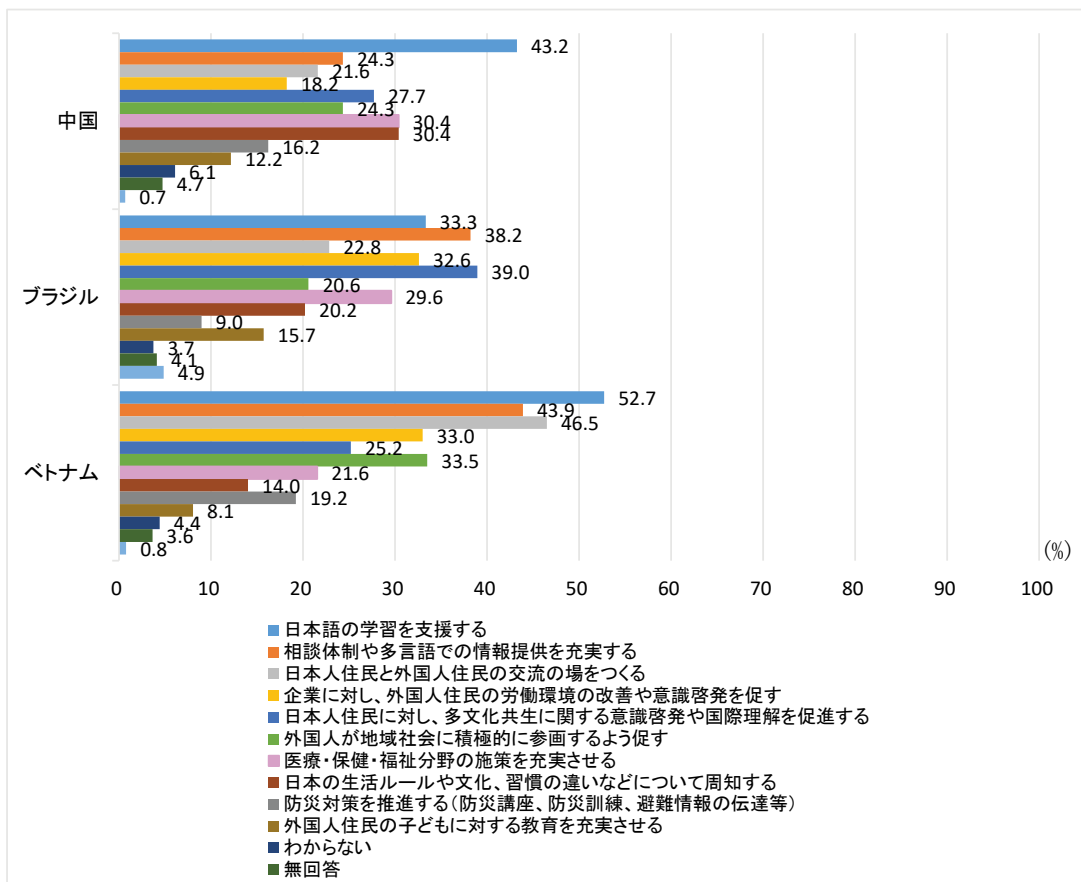


3 行政に求めること

問1 行政が力を入れるべき分野（3つまで回答）



(1-1) 国籍別



《日本人対象調査》

I 調査の概要

1 調査期間

令和2年10月12日～10月26日

2 調査方法

郵送による調査票配布、回収

3 調査対象

県内に居住する満18歳以上の1,000人
(住民基本台帳から年代別に無作為抽出)

4 回答者数

640人(回答率64.0%)

5 回答者属性

○性別

	回答数	割合(%)
男性	273	42.7
女性	366	57.2
自由記述	1	0.2
無回答	0	0.0
合計	640	100.0

○市町別

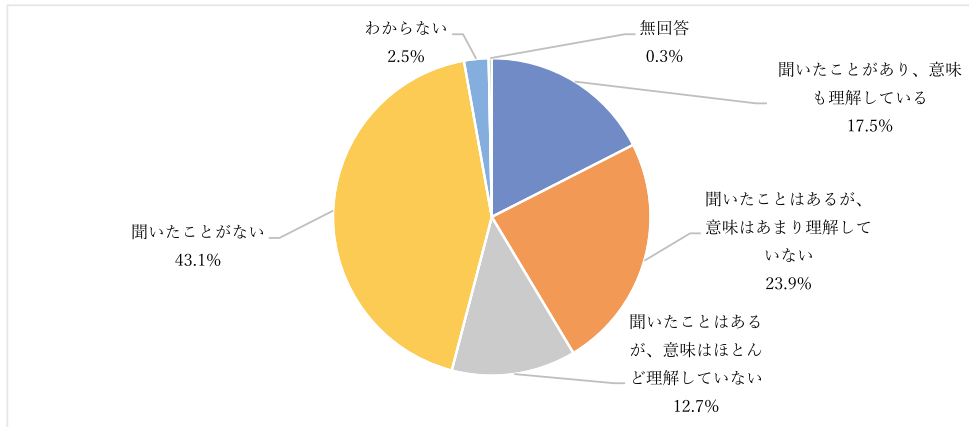
	回答数	割合(%)
福江市	221	34.5
敦賀市	49	7.7
小浜市	22	3.4
大野市	27	4.2
勝山市	18	2.8
鯖江市	60	9.4
あわら市	28	4.4
越前市	70	10.9
坂井市	73	11.4
永平寺町	13	2.0
池田町	2	0.3
南越前町	9	1.4
越前町	16	2.5
美浜町	9	1.4
高浜町	7	1.1
おおい町	5	0.8
若狭町	10	1.6
無回答	1	0.2
合計	640	100.0

○年代別

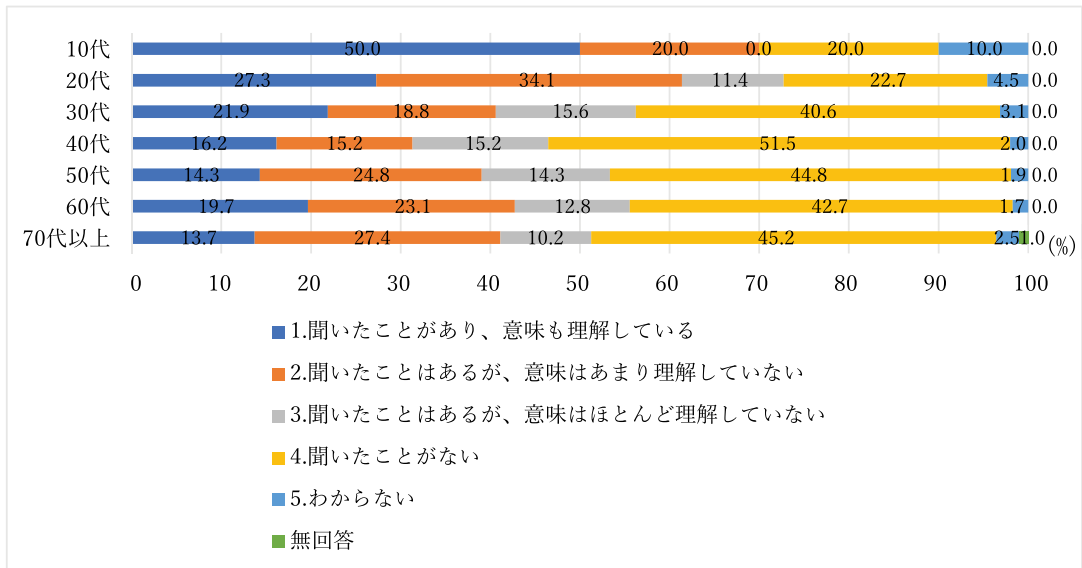
	回答数	割合(%)
10代	10	1.6
20代	44	6.9
30代	64	10.0
40代	99	15.5
50代	105	16.4
60代	117	18.3
70代以上	197	30.8
無回答	4	0.6
合計	640	100.0

II 調査結果の概要

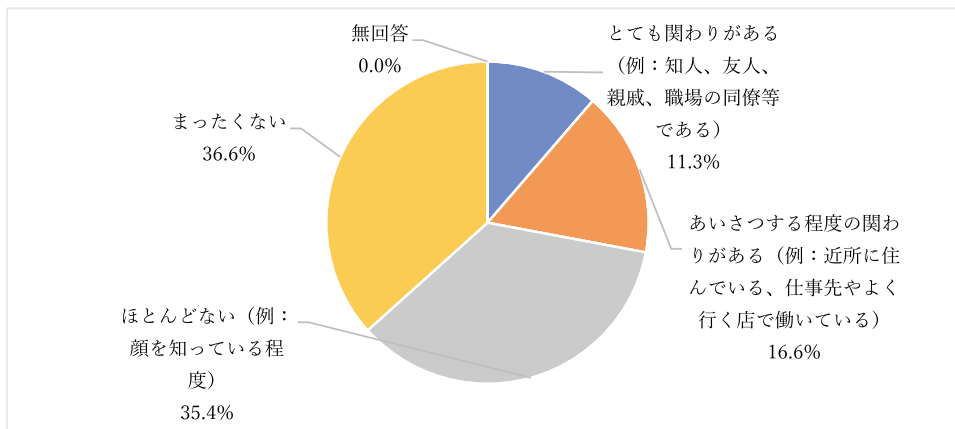
問1 「多文化共生」という言葉を聞いたことがあるか



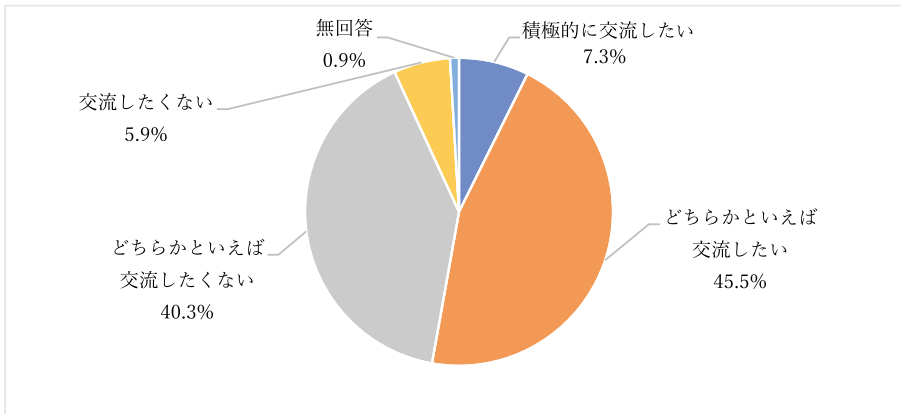
(1-1) 年代別



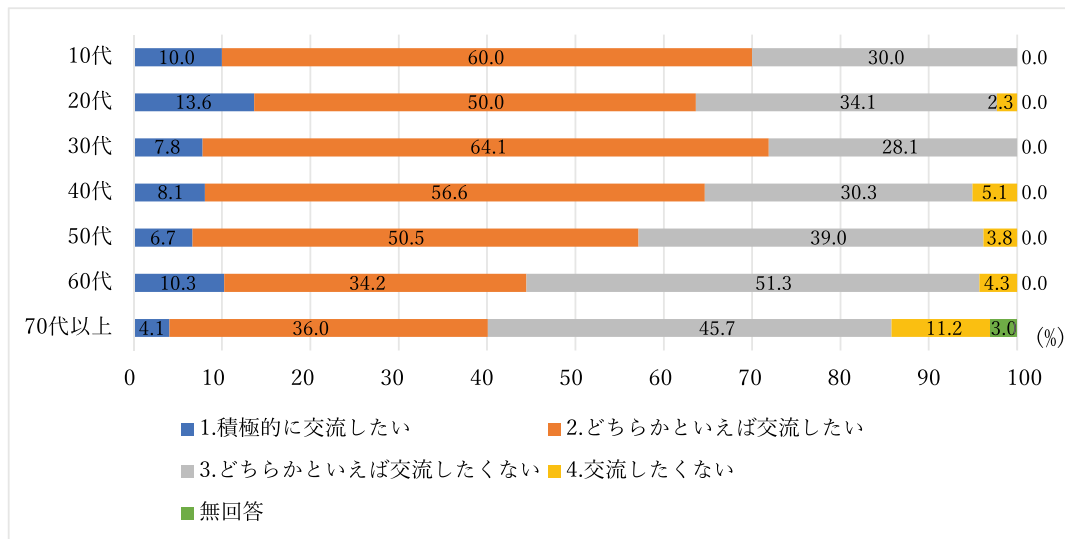
問2 日常生活の中で、外国人住民とどの程度関わりがあるか



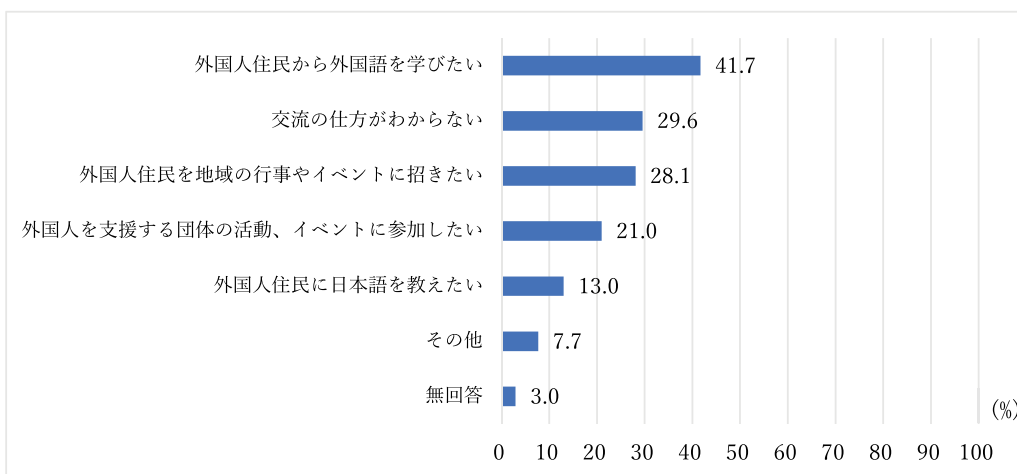
問3 外国人住民とどの程度交流したいか



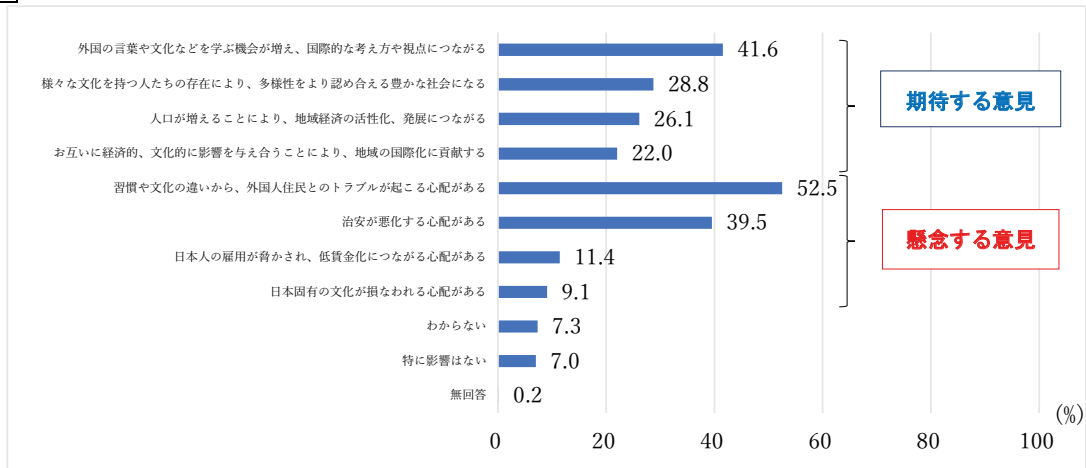
(3-1) 年代別



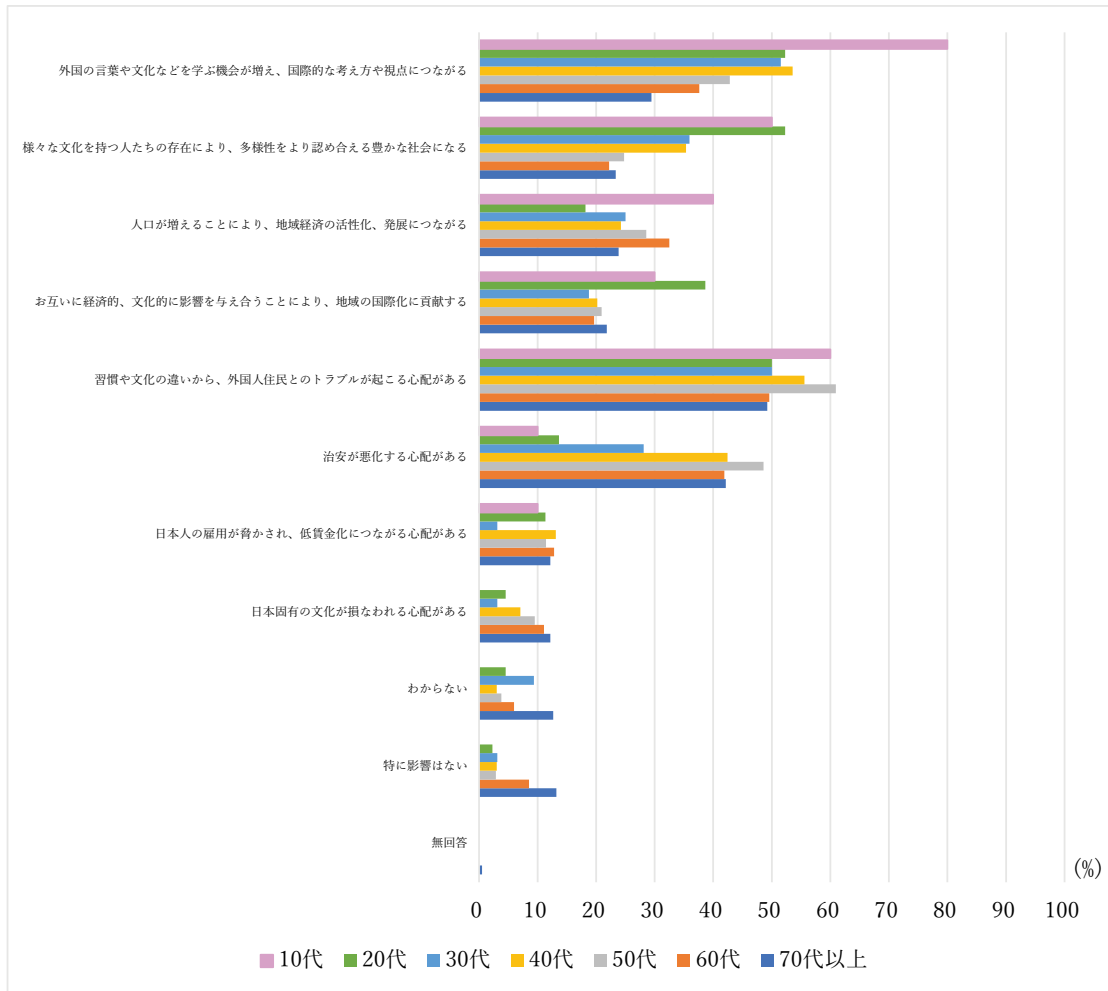
問4 (問3で交流したいと回答した人) どのような交流をしたいか (複数回答)



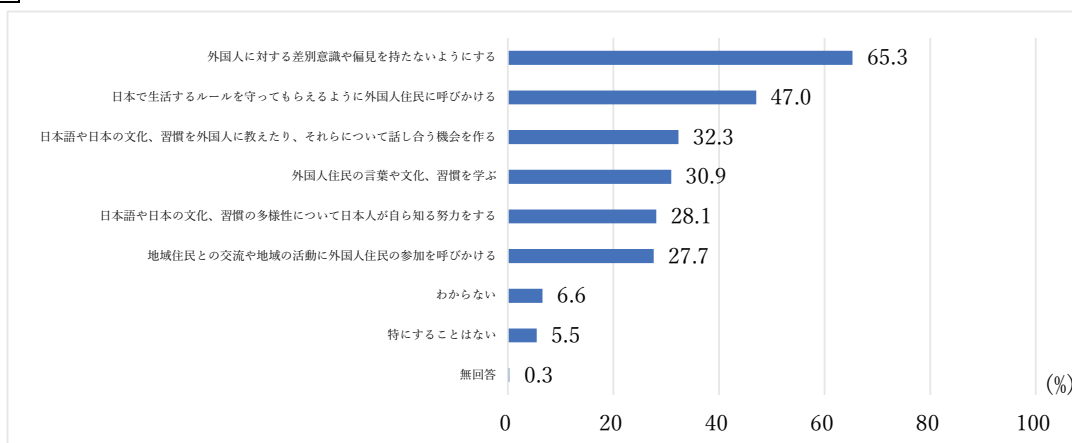
問5 地域社会に外国人住民が増えることをどう思うか（3つまで回答）



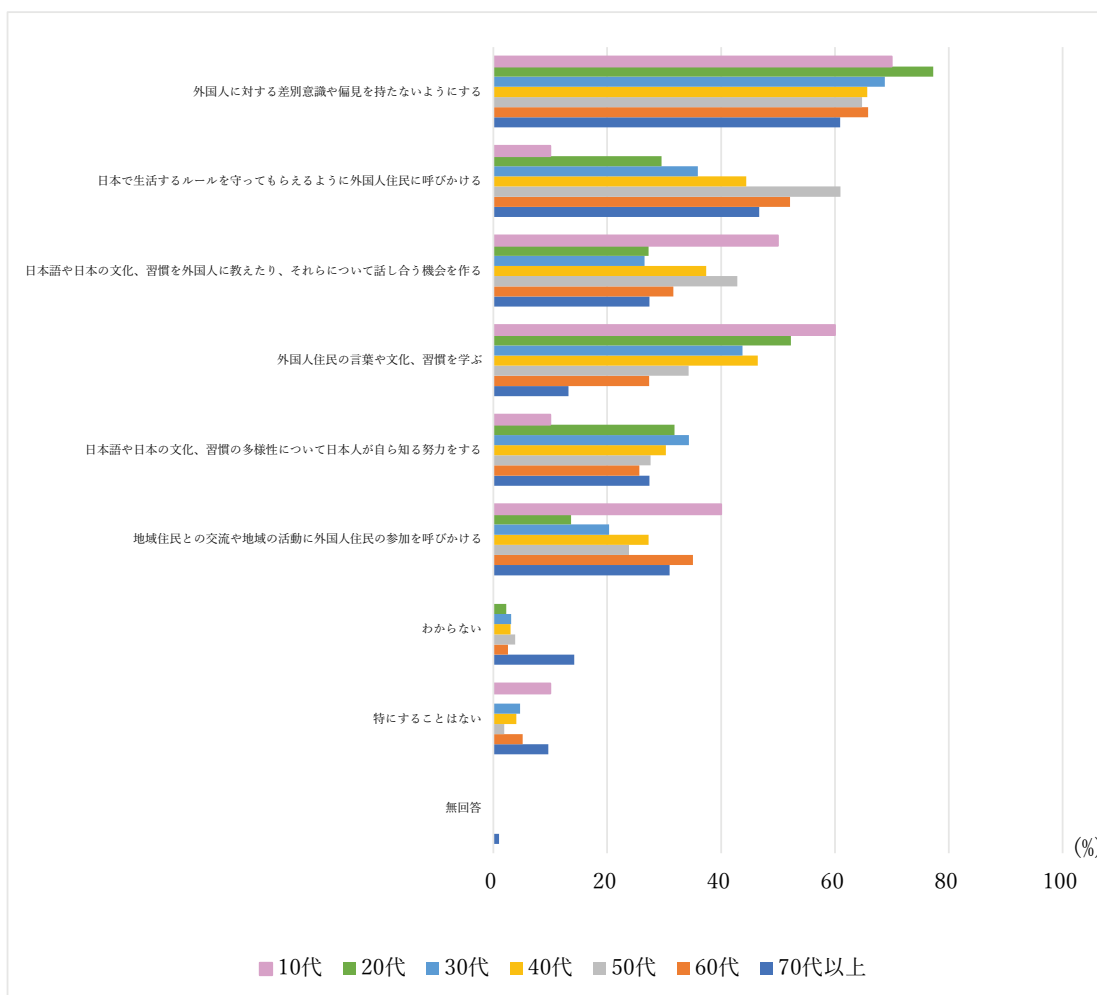
(5-1) 年代別



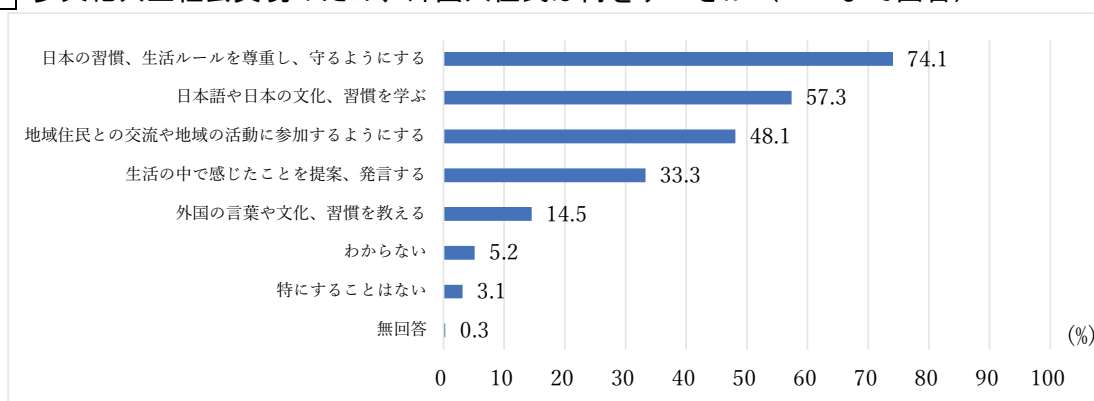
問6 多文化共生社会実現のため、日本人住民ができること（3つまで回答）



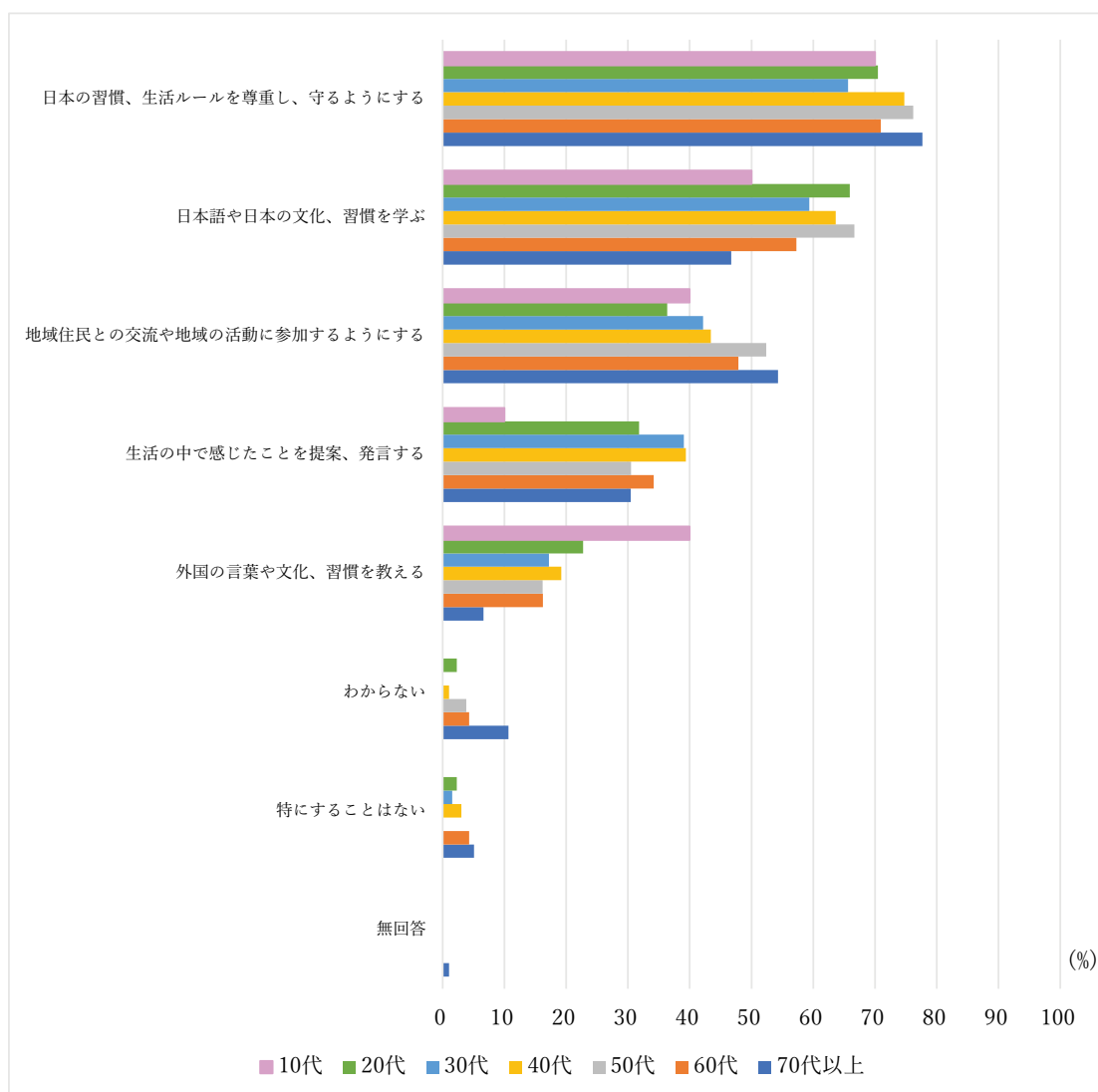
(6-1) 年代別



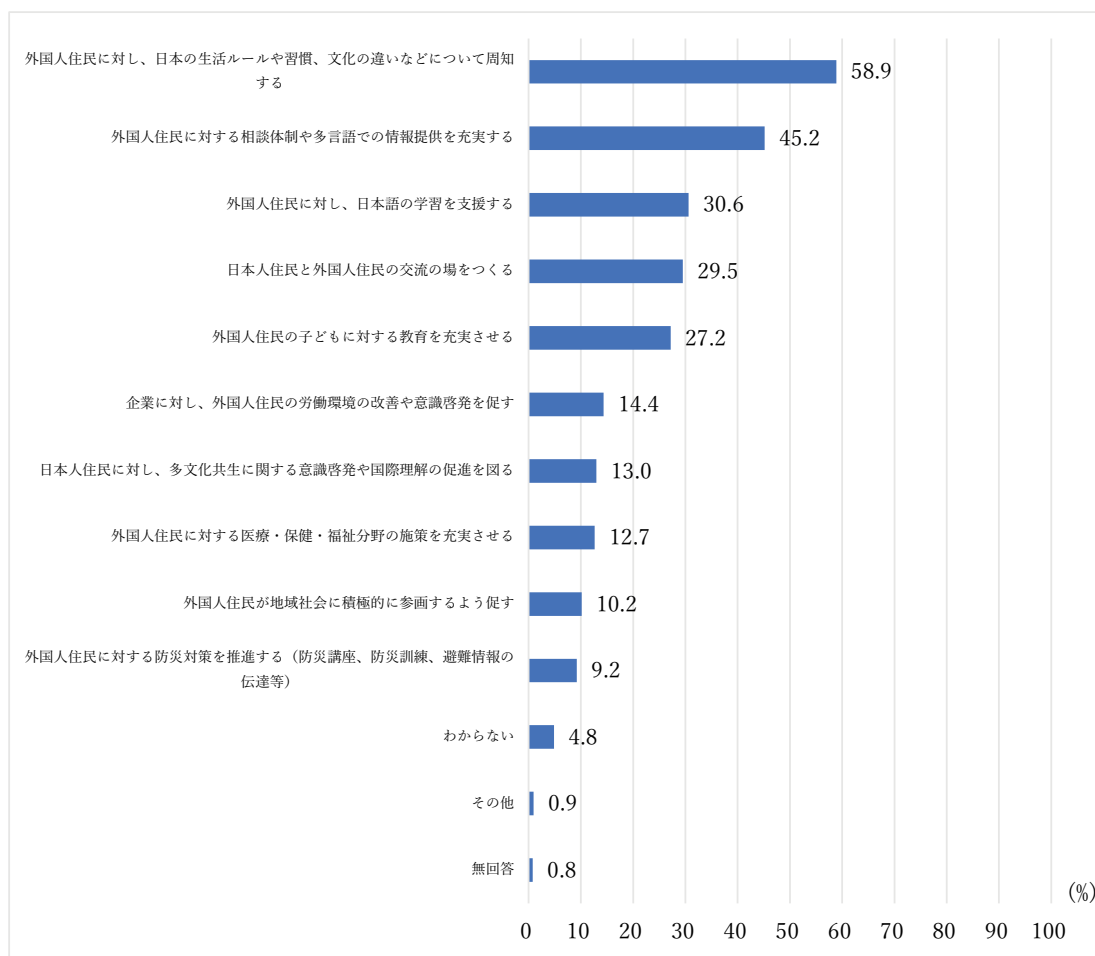
問7 多文化共生社会実現のため、外国人住民は何をすべきか（3つまで回答）



(7-1) 年代別



問8 行政が力を入れるべき取組み（3つまで回答）



福井県多文化共生推進プラン

策定：令和3（2021）年3月
発行：福井県（地域戦略部未来戦略課）

〒910-8580
福井県福井市大手3丁目17番1号
TEL 0776-20-0225
FAX 0776-20-0623
Eメール mirai-senryaku@pref.fukui.lg.jp